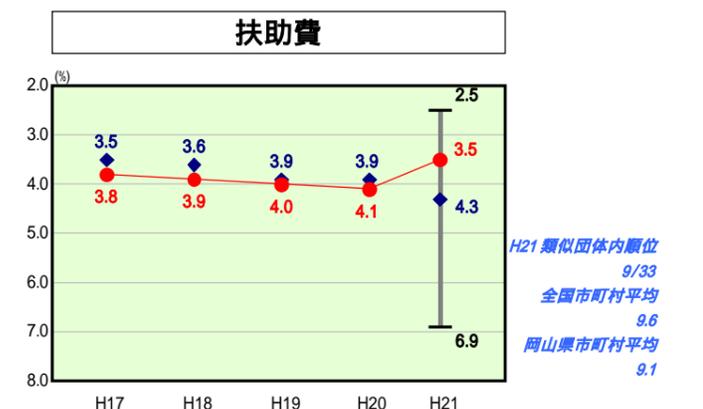
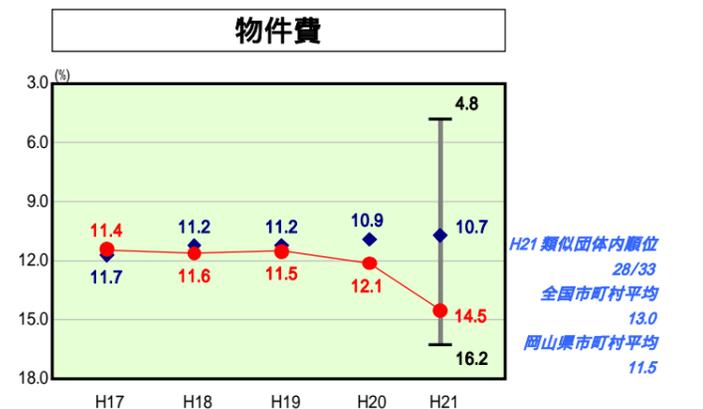
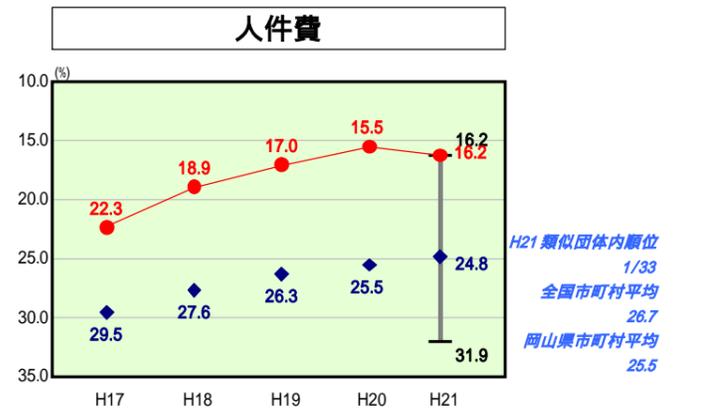
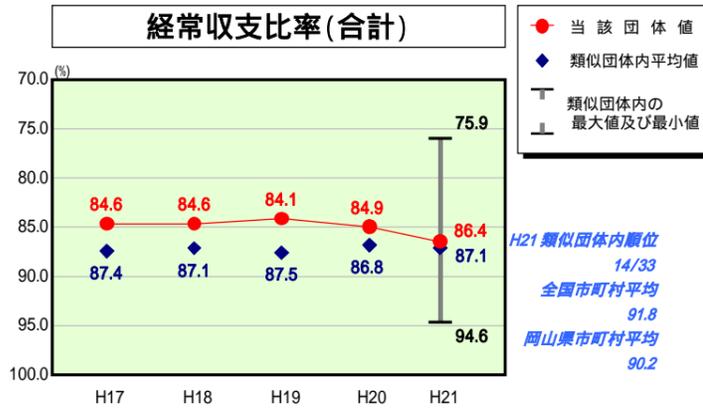
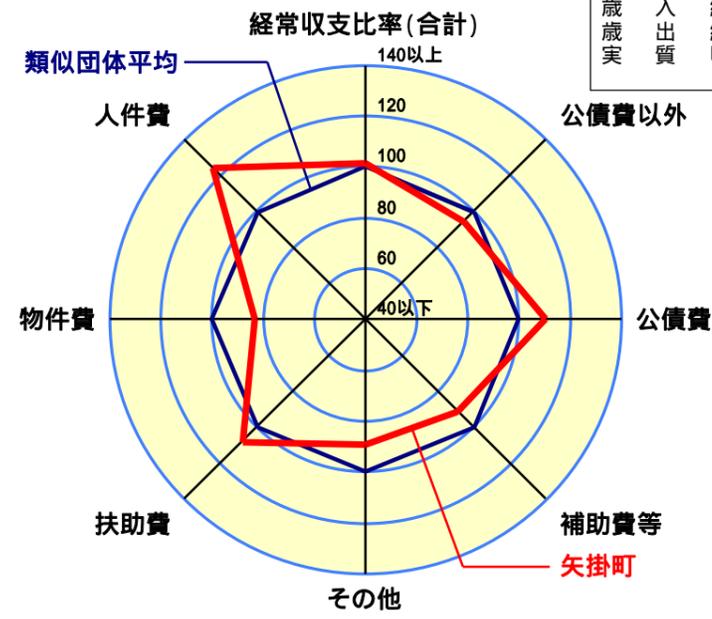


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人面標準	15,581人(H22.3.31現在)
歳入総額	90.62 km ²
歳出総額	4,551,931千円
実質収支	7,374,144千円
	6,876,716千円
	414,598千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

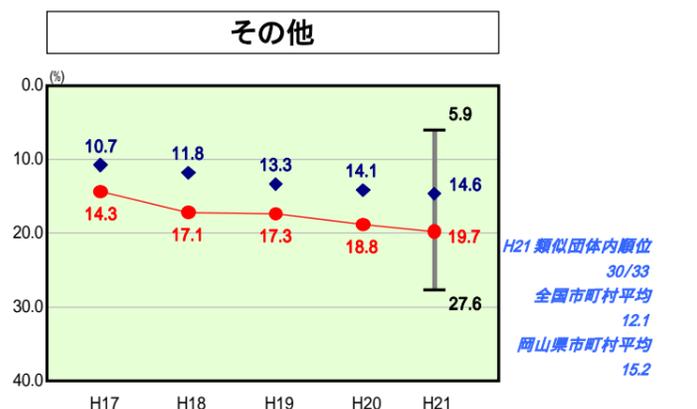
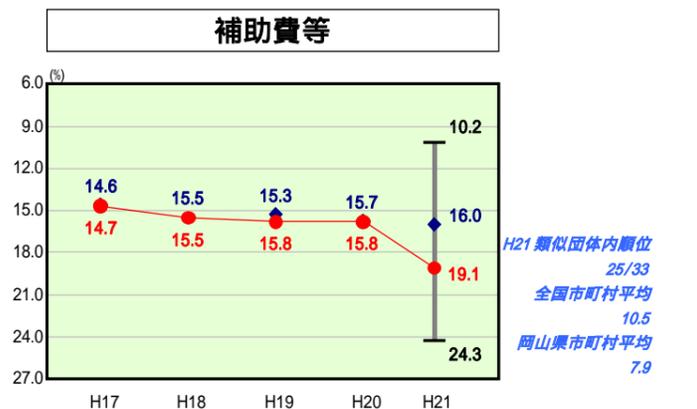
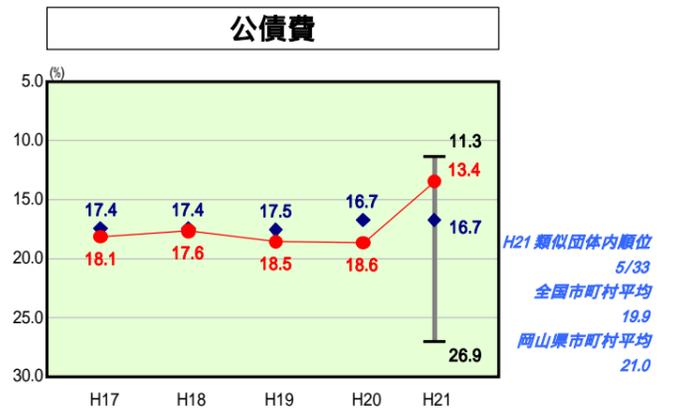
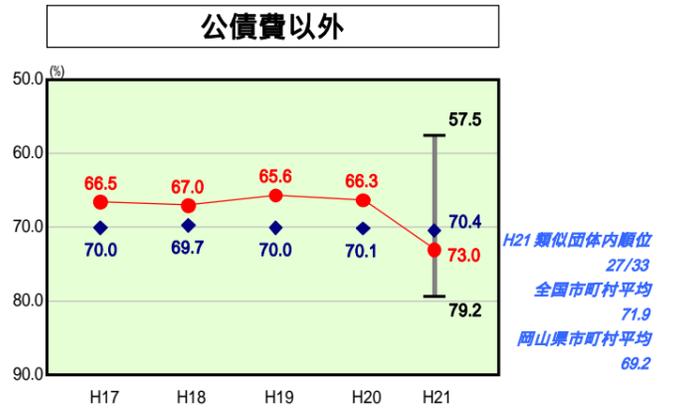
分析欄

・経常収支比率
 経常収支比率とは、人件費、物件費、公債費など経常的な支出に、町税、地方交付税などの経常的な収入がどの程度充当されているかを示すものです。財政構造の弾力性を判断する指標で、比率が低いほど弾力性が大きいことを示します。
 矢掛町においては、人件費の抑制に努めており、その結果、昨年度より1.5ポイント高くなったものの、類似団体平均と比べて0.7ポイント低く、比較的健全な財政運営が行われていると言えます。

・人件費及び人件費に準ずる費用
 新規採用職員数の抑制、各種職員手当の見直し等を行うことで人件費の抑制に努め、また、団塊の世代の大量退職により職員一人あたり給与費が減少した結果、類似団体内では人件費比率が最も低くなっています。反面、臨時・嘱託職員を積極的に活用しているため、賃金の比率が高くなっています。また、他会計への人件費相当分の繰出金は、必要最低限に抑えているため、全体では、人件費及び人件費に準ずる費用については、類似団体と比較して抑制されています。

・公債費及び公債費に準ずる費用
 公営企業債の償還に充当したと認められる繰入金等の額については、類似団体と比較すると高い水準にあります。これは平成14年度から17年度に行われた病院改築事業にかかる地方債の元金の償還が始まったことや、公共下水道事業が平成5年度から平成33年度までの計画で下水道整備を行う中で地方債償還額が年々増加してきていることが原因です。しかしながら、矢掛町においては、従来から地方交付税措置のある(返済するときに、返済額の一部が交付税として措置される)有利な地方債を優先的に借入し、実質的な公債費の抑制を図ってきました。また、利率の高い繰上償還の計画的な繰上償還、公的資金補償金免除繰上償還を行うなど、後年度負担の軽減にも取り組んできました。その結果、公債費及び公債費に準ずる費用は類似団体と比較して若干低くなっています。

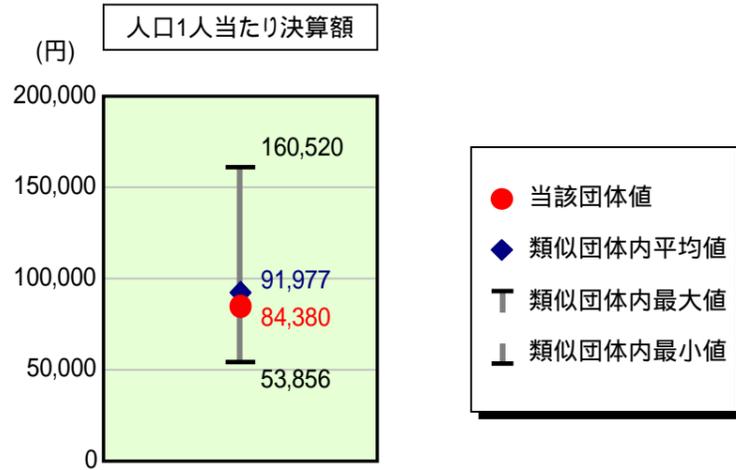
・普通建設事業費
 かねてより適正な事業実施に取り組んできたことにより、普通建設事業費は継続して類似団体より低い水準を維持してきましたが、平成20年度においては、総合運動公園建設事業、義務教育施設大規模改修事業を実施したため、普通建設事業費は増大しました。平成21年度においても同事業を引き続き実施していますが、これは振興計画に沿った事業実施であり、総合運動公園建設事業が完了する平成24年度まで(義務教育施設大規模改修事業は平成23年度まで)は高い水準が続くと思われます。



歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

岡山県 矢掛町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



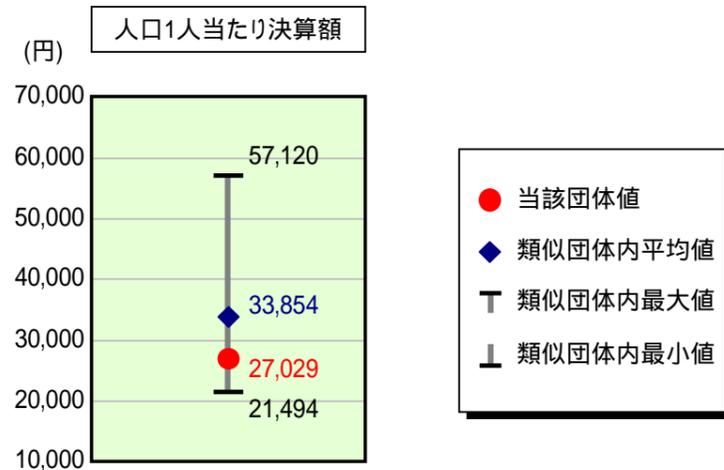
人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	974,659	62,554	75,914	17.6
賃金(物件費)	240,385	15,428	5,438	183.7
一部事務組合負担金(補助費等)	210,418	13,505	13,852	2.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	349	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	1,400	90	3,962	97.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	15,895	1,020	1,516	32.7
退職金	128,028	8,217	9,054	9.2
合計	1,314,729	84,380	91,977	8.3

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.74	8.36	1.62
ラスパイレス指数	93.9	95.5	1.6

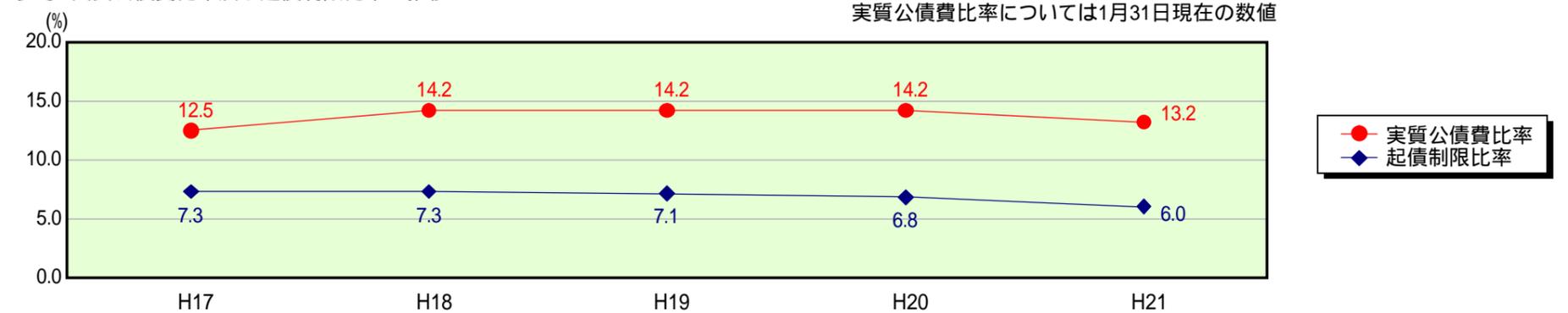
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	1月31日現在の数値		人口1人当たり決算額	
	当該団体決算額 (千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	681,197	43,720	47,455	7.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	460,762	29,572	20,092	47.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	36,709	2,356	7,350	67.9
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	31,885	2,046	3,042	32.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	7	-
特定財源の額	79,397	5,096	1,926	164.6
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	710,011	45,569	42,167	8.1
合計	421,145	27,029	33,854	20.2

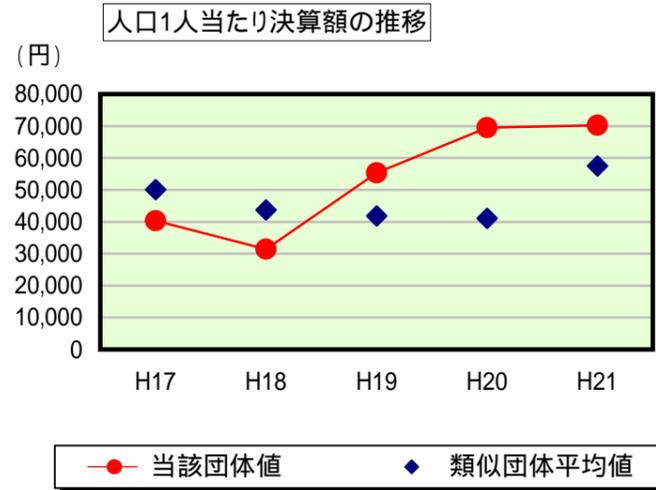
参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

岡山県 矢掛町

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H17	654,031	40,310	2.9	50,081	23.2	20.3
うち単独分	361,449	22,277	28.7	32,308	31.7	3.0
H18	505,211	31,421	22.1	43,735	12.7	9.4
うち単独分	223,604	13,907	37.6	26,982	16.5	21.1
H19	882,493	55,322	76.1	41,791	4.4	80.5
うち単独分	392,619	24,613	77.0	25,330	6.1	83.1
H20	1,092,283	69,497	25.6	41,097	1.7	27.3
うち単独分	250,207	15,920	35.3	23,651	6.6	28.7
H21	1,093,997	70,214	1.0	57,455	39.8	38.8
うち単独分	486,105	31,199	96.0	33,958	43.6	52.4
過去5年間平均	845,603	53,353	15.5	46,832	0.4	15.9
うち単独分	342,797	21,583	14.3	28,446	3.5	17.8